

# 第32回全国健康福祉祭和歌山大会

## ～ねんりんピック紀の国わかやま2019～

### ◆東京都のシニア代表230名が健闘しました!◆

昭和63年から開催されている全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)は、60歳以上のシニアが出場できる全国大会です。第32回を数える今年は、令和元年11月9日(土曜日)から同月12日(火曜日)まで、和歌山県内の21市町で開催され、選手や監督ら約1万人が参加し、テニスやマラソン、囲碁等27種目で熱戦が繰り広げられました。

東京都からは、第23回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(平成30年10月から11月まで実施)の上位入賞者141名、各種目団体主催の選考会上位入賞者等89名の合計22種目230名の選手による選手団を結成し、出場しました。

総合開会式は、三笠宮 杉子さま御臨席のもと、和歌山県紀三井寺陸上競技場(和歌山市)において執り行われ、「交流を深められ、実り多き大会にさせていただくことを願っています。」と述べられました。

入場行進では、沖縄県を先頭に、各都道府県・政令指定都市がお国自慢のアピールをしながら、東京都選手団は、岡山孝夫旗手(ソフトボール)を先頭に力強く行進しました。開会宣言に続き、世界遺産・高野山奥の院で採火された炬火が入場し、和歌山県出身のオリンピック3名

を経て、最終走者の東京2020オリンピックでの活躍が期待されるフェンシング競技の若手アスリート姉妹に引き継がれ炬火台に点火されました。また、メインアトラクションでは、3,000人を超える県民が出演し、和歌山の四季を表現した創作パフォーマンスが披露されたほか、上富田町出身の歌手、坂本冬美さんが歌で花を添え、観客は魅了されました。

東京都代表の選手は10日から始まった交流大会で、全国の仲間と切磋琢磨し、日頃の練習成果を思う存分発揮され、心に残る交流を行いました。その中で見事優勝の栄冠を手にしたのは、団体戦では、オリエンテーリング、個人戦では、水泳の吉原一彦選手です。また、準優勝に輝いたのは、団体戦では、なぎなた(演技競技)、個人戦では、マラソンの二宮貞則選手、高藤則子選手、水泳の平塚和子選手です。その他、第3位、優秀賞を含め、東京都選手団は、数多くの上位入賞を果たす等、大健闘いたしました。

なお、次回、ねんりんピック岐阜2020(令和2年10月31日から11月3日まで)には、第24回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(令和元年10月から12月まで実施)の上位入賞者等が出場を予定しています。

### 第32回 全国健康福祉祭和歌山大会 東京都選手団成績一覧

種目	チーム名	成績(出場区分)	選手氏名等(敬称略)	
卓球	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
テニス	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
ソフトテニス	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
ソフトボール	町田メイソ	団体戦	ご健闘いただきました	
	江戸川ソフトボールクラブ	団体戦	ご健闘いただきました	
ゲートボール	ブルースカイ世田谷	団体戦	優秀賞	
	小金井桜	団体戦	ご健闘いただきました	
	西新井友の会	団体戦	ご健闘いただきました	
	萩山クラブ	団体戦	ご健闘いただきました	
	-	-	高齢者賞	金山 邦雄(91歳)
バタンク	東京ピックブルー	団体戦	ご健闘いただきました	
	目黒バタンククラブ	団体戦	ご健闘いただきました	
ゴルフ	東京都	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	ご健闘いただきました	
マラソン	東京都	個人戦	準優勝(3km男子 70歳以上)	二宮 定則
		個人戦	準優勝(10km女子 60~69歳)	高藤 則子
		個人戦	優秀賞(5位・3km女子 60~69歳)	藤野 めぐみ
		個人戦	優秀賞(8位・5km男子 60~69歳)	田畑 滋
		個人戦	優秀賞(5位・5km女子 60~69歳)	本多 春江
		個人戦	優秀賞(7位・5km女子 60~69歳)	村岡 章子
弓道	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
剣道	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
水泳	東京都	個人戦	優勝(50m自由形 60~64歳 男子)	吉原 一彦
		個人戦	準優勝(50m平泳ぎ 65~69歳 女子)	平塚 和子
		個人戦	3位(50mバタフライ 65~69歳 男子)	久保 正三郎
		個人戦	3位(50m平泳ぎ 70~74歳 男子)	船野 哲夫
		個人戦	3位(25m自由形 60~64歳 男子)	笠原 広
		個人戦	3位(25m背泳ぎ 60~64歳 女子)	羽田 悦子
		個人戦	3位(25m平泳ぎ 65~69歳 女子)	平塚 和子
グラウンド・ゴルフ	東京都A	個人戦	(混合フリーレー)ご健闘いただきました	
	東京都B	個人戦	ご健闘いただきました	
オリエンテーリング	東京都チーム	団体戦	優勝	
サッカー	TOKYO	団体戦	3位(Nブロック)	
ソフトバレーボール	Ambitious	団体戦	ご健闘いただきました	
なぎなた	東京都	団体戦	準優勝(演技競技)	
		団体戦	優秀賞(試合競技)	
		個人戦	優秀賞(第一試合場)	高橋 聖子
太極拳	チーム武蔵野	団体戦	優秀賞	
ダンススポーツ	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	優秀賞(4位 スタンダードの部(ワルツ))	西尾 治一・西尾 聖子
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
合気道	東京都	個人戦	ご健闘いただきました	
囲碁	東京TGO	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	優秀賞(みかんブロック)	石田 繁行
	東京都3多摩トリオ	団体戦	ご健闘いただきました	
将棋	東京都A	個人戦	優秀賞(みかんブロック)	笹田 俊輔
		団体戦	優秀賞	
健康マージャン	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	ご健闘いただきました	



総合開会式



太極拳



水泳



囲碁



健康マージャン



バタンク



弓道

優勝:2 準優勝:4 第3位:6 優秀賞:14 高齢者賞:1人

※個人戦の入賞者のみ氏名を掲載 ※年齢は令和2年3月31日時点の満年齢

# ねんりんピック体験記!

たくさんの  
方からのご寄稿、  
ありがとうございました。

## ソフトボール 岡山 孝夫さん

「あふれる情熱 はじける笑顔」をテーマに開催された『ねんりんピック 紀の国わかやま2019』は快晴に恵まれ、素晴らしい総合開会式でした。

色とりどりのユニフォームを着用した1万人を超える選手団は、和歌山県らしさあふれる行進曲で入場、小学生らの応援団が出迎えてくれました。

炬火は、和歌山県出身のオリンピックから「東京2020大会」で活躍が期待される若手アスリートにリレーされ、炬火台に点火されました。

メインアトラクションは、『紀の国わかやま“夢と人生”の賛歌』と題し、3千人を超える県民が「四季折々の歌とダンス」でつなぎ、グラウンド全体に花を咲かせました。最後は、和歌山県出身の坂本冬美さんと「希望の歌～交響曲第九番～」を大合唱し、締めくくりました。

私個人としては、東京都選手団の「旗手」という大役を仰せつかり、名誉なことでありました。無事に大役を果たせたことに安堵しております。

「ソフトボール交流大会」の結果は、1回戦は大分県に快勝しましたが、2回戦の長崎県とは接戦の末、惜敗しました。全国レベルの「壁」を厚く感じた次第です。今後この経験を生かしていきたいと思えます。

「健康だからソフトボールが出来るのか?」「ソフトボールをやっているから健康を維持できるのか?」今後も頑張っていきます。



## グラウンド・ゴルフ 三俣 河子さん

ねんりんピック紀の国わかやま2019に参加させていただきありがとうございました。

たくさんの方の歓迎をうけてここにいられることの嬉しさが込みあげてきました。総合開会式にはスポーツ庁の鈴木長官、皇族のおことばをいただき、まさにオリンピックを味わいました。感動でいっぱいでした。

これまで多くのスポーツをしてきましたが、この年齢までねんりんピックを知らなかったので損をした気分です。人生75歳にして多くの感動をいただき、生きる喜びを再びよみがえらせることができました。年齢を重ねるごとに心が丸くなり、家から外にでて、何でもよいか仲間づくりをして、楽しい人生を過ごせたら最高だと思います。子供達にも60歳になったらスポーツで代表になれるか関心を持って頑張りたいと思います。

最後に和歌山県の皆さんの「おもてなし」ありがとうございました。



## ソフトテニス 浦野 広茂さん

このねんりんピックは、私の中で記憶に残る大会となり、感謝しております。

総合開会式では、東京都選手団の一員として行進し、一度は自分のために「国歌」を歌ったことが叶い、最高に感動いたしました。

大会では、監督としてチームを引っ張り(本当は引っ張られていました)、チームをまとめ「ワンチーム」(紀州犬のきいちゃんやラグビーに掛けて)として楽しく頑張ることができました。

大会2日目には、疲れもでてきたのが、ぎっくり腰になってしまい、コート近くのコンディショニングテントでマッサージやテーピング、痛み止めを飲み、腰ベルトをして次の試合も何とかプレーできました。

ホテルの食事美味しくて、少し太りました。

和歌山県で出逢った方々に感謝、感謝です。



## ダンススポーツ

## 原島 宗雄さん・樺津恵さん

### 『ねんりんピック和歌山』を踊る

令和の新時代になって半年余り、ねんりんピックの出場でみかんの国、和歌山へダンススポーツの一員として参加しました。

このお話をいただいた時には、すでにラテンのコスチュームを夫と二人揃いでオーダーしていました。よりによって色はオレンジと黄色です。開催県が和歌山なら、遊びどころで髪飾りもみかんにしましょう、夫の肩にもみかんを乗せましょう。

いざ、競技会に出場すると、私達のみかんを見て「東京都なのに、和歌山県“愛”が強い」と、運営の役員や高校生達からはキャーとかキャーの連続でしたし、愛媛県代表の選手には、愛媛も特産がみかんなので、この格好で来てくださるとか、実際の踊りはさて置いてコスチュームで話題作りができ、多くの県の選手とお話げができました。とは言え、本当はもっと私達らしいパフォーマンスで爆発した踊りをお見せできなかったのが、残念で、唯一、心残りでしょうか。

もう一つ、皆さんから笑いを誘ったのは、選手整列の時、役員が背番号を点呼するのですが、私達はどのような訳か二人揃って大きな声で返事をして手を挙げるので、周りからどうしていつもいつもピタリ息が合うのか、「それに感心する。」と笑われてばかりの私達でしたが、同行の役員、仲間達にも恵まれ、「ねんりんピック和歌山」を思う存分楽しんだ4日間でした。



## ソフトバレーボール 和田 光康さん

和歌山県で行われた「ねんりんピック」にソフトバレーボールで参加させていただきました。地元の皆様の心のこもったおもてなし、高野山の宿坊に泊まった初体験、地元の名産品に舌鼓を打ったり、心に残る思い出の1ページを記すことができました。

私達は、普段交流のある近県の人達や前回知己を得た高知県や愛媛県のチームの人達と再会をして旧交を温めたり、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、地元の方々等の心遣いのおかげで試合にも専念でき、ねんりんピックを心行くまで楽しめたと思います。

それともう一つ、今回のねんりんピックで貴重なお土産をいただいたことをご報告させていただきます。試合会場の体育館に着いた時、その体育館に続く通路に地元の小学生の皆さんが心を込めて描いた、都道府県等を応援する旗が並んでいました。東京都を応援する旗を見つけた時に、案内のため同行していた市の職員に「ねんりんピックが終わったら記念に頂けないか」とお願いしたところ、試合の最終日に頂くことができました。その旗を持って記念写真を撮り、これが一番のお土産ですと、市の職員に謝辞を述べ、和歌山の良い思い出を胸に帰路につきました。



次年度以降の  
「ねんりんピック」  
開催予定

●2020年 第33回 岐阜県  
●2021年 第34回 神奈川県

●2022年 第35回 愛媛県  
●2023年 第36回 鳥取県



ゴルフ



ゲートボール



卓球



将棋



オリエンテーリング